

陸平通信

OKADAIRA 2024年9月1日発行
編集・発行 / 茨城県稲敷郡美浦村土浦 2359
美浦村文化財センター（陸平研究所）
☎ 029-886-0291 FAX 029-886-0471
Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

陸^{おか}
平^{だいら}
物^{もの}

陸平貝塚の竹の灰を使った

国史跡陸平貝塚にちなんだオリジナルグッズ「陸平物」の第2弾が完成しました。「瀬戸物」にかけてネーミングした「陸平物」の第1弾は陸平貝塚にちなみ貝の粉を釉薬として使い、器のデザインは貝塚や海をイメージした器でした。今回の新作は陸平貝塚の里山整備の一環でおこなわれてる竹炭焼き活動をヒントに竹の灰を利用した器です。今回は海をイメージし青い色調で統一されていましたが、今回は色調も竹をイメージするような渋めの色合いです。陸平貝塚を拠点に活動する陸平をヨイショする会の炭焼き活動に携わる皆さんの協力を得て竹の灰を作り、さらに竹灰を釉薬として使っています。

器の種類は、タンブラー、小鉢、小皿、そして陸平貝塚出土の双口土器の形をした箸置きです。7月にリニューアルオープンしたみほふれ愛プラザの直売所（みほーすふぁーむ）にてお買い求めできます。ご自宅で、また美浦村陸平貝塚のお土産としてぜひどうぞ！

<情報をお寄せください！>

美浦村の歴史に関する資料を探しています

文化財センターでは、地域の歴史に関する資料を収集・保存し、後世に伝える活動を行っています。美浦村の歴史に関する古文書や絵図、地図、写真、古い襖（古文書が使われている場合があります。）などがありましたら、文化財センターへご一報ください。

また、鹿島海軍航空隊に関する体験や写真、情報等もお寄せください。



梅朝基礎落語

落語で楽しいひとときを！

- ◆日時 9月21日（土）
午後1時30分から
- ◆場所 文化財センター
- ◆出演 好文亭梅朝
- ※申込不要です



今宵静かに十六夜月と偲ぶえにしの陸平（日和吟社俚謡集より）

小学校のあゆみ 第1回

木原小学校



美浦村の3つの小学校は令和7年度から美浦小学校として新たにスタートします。今回は木原小学校をとりあげます。

江戸時代には幕府の文教政策などにより、寺子屋や私塾の開設が盛んにおこなわれるようになり、明治に入ると文部省ができて教育制度も進展してきました。

木原小学校は、明治7（1874）年郷中の廣徳寺に開校されたことに始まります。それまで私塾を開いていた木原の上木栄次郎氏が最初の訓導（戦前まで教員のことを訓導といいました）となりました。木原村は木原、大須賀津、大谷、請領、宮地、茂呂、信太、興津、布佐の9つの大字より成っていました。当時の通学区域は木原、大須賀津、茂呂で児童数も僅かでした。

明治12（1879）年、校舎が勝願寺に移りました。勝願寺は現在ありませんが、場所は木原地区多目的集会施設や農林漁業者トレーニングセンターがある高台です。明治17（1884）年に校舎が後宿に移りました。また茨城県令により木原村と安中村を合わせて一学区となり、安中村の八井田と大山に分教場（分校と同じ意味）が設置されました。

明治22（1889）年の町村制実施に際して学区も変わり、木原村を一学区とし、本校には木原、大須賀津、布佐、受領が通学区域となり、大谷には分教場が置かれました。本校は同年大和堀に新築され、現在の農トレ体育館がある高台が運動場となりました。

その後、大谷分教場は明治25（1892）年に木原小学校から分かれ、明



大正の頃



明治の頃



昭和40年頃



土屋分校（戦後）

治42（1909）年には土屋に分教場が置かれました。

昭和16（1941）年の戦時下には木原国民学校と改称されました。

第二次世界大戦の終結とともに、日本国憲法はじめ教育基本法、学校教育法など公布され、戦後の新たな教育制度が始まり、昭和22（1947）年4月1日には「木原村立木原小学校」と改称されました。

昭和25（1950）年、校歌が制定されました。以来今日まで長きにわたり木原小児童に歌い継がれてきた校歌ですが、その作詞は木原村布佐出身の増生幻樹（本名源二）氏によるものです。

昭和30（1955）年美浦村が木原村、安中村と舟島村の一部が合併して誕生し、それにより旧舟島村の舟子地区が木原小学校の学区に編入されました。

昭和53（1978）年、JRA美浦トレーニングセン

ターの開場に併せて新築された大谷小学校の開校とともに土屋地区の児童は木原小学校から大谷小学校に学区が移ることになりました。

昭和54（1979）年に木原小学校は現在の場所に校舎が新築されました。

平成6（1994）年には木原小学校創立120周年記念事業がおこなわれました。

霞ヶ浦や筑波山を望む木原小学校はこれまでに道徳教育研究や理科研究、ソニー賞などの素晴らしい研究成果を残してきました。また木原城址が整備されてからは木原城址に触れる機会も多く、キッズカンパニー

など特色ある活動もおこなっています。

木原小学校に関わる石碑としては布佐出身の初代山田平太校長と、第3代市村孝吉校長の碑が山戸堀に残されています。

明治初期に開校されてから現在にいたるまで教育制度や学校の通学区など幾度か変わってきた木原小学校は今年150年をむかえました。

〔引用参考文献〕

『木原小のあゆみ』木原小学校創立120周年記念事業実行委員会 平成6年

『美浦村誌』美浦村 平成7年

※写真真出典…『木原小のあゆみ』



旧校舎での授業風景（戦後）



霞ヶ浦での海水浴（旧校舎の頃）

木原小学校校歌

作詞 増生幻樹

作曲 岩井清志

一、森の愛宕に朝日が昇る

清い青空大気は澄んで

胸は高鳴る心は躍る

ここは楽しい木原校

二、緑ゆれている明るい庭に

歌が流れる団欒^{まどい}のあした

集い学べよ我らの希望

ここは楽しい木原校

三、霞浦はるり色まばゆき白帆

ほほは輝くみどりの光

伸びよ鍛えよ我らの身体

ここは楽しい木原校

四、筑波染まれよ夕陽が沈む

西は夕焼け明日の晴れに

元気いっぱい祈れよ希望

ここは楽しい木原校

陸平貝塚公園の秋のイベントのお知らせ

おかだいら縄文フェスタ2024

10/12(土)
10/13(日)

秋の陸平貝塚公園で体験やアルトサックスコンサートで楽しくすごそう。

10月12日(土) 体験の日

【時間】 10:00～15:00

【会場】 陸平貝塚公園

【体験メニュー】

縄文土器、土笛、縄文クッキー、まが玉、
コースター、花炭、火おこし、弓矢など

※体験料はメニューにより異なります。

【陸平貝塚見学ツアー】

11:00～、13:30～

予約
不要



★復元竪穴住居の燻蒸
(午前のみ)

★陸平オリジナルグッズ、
竹炭など販売

★キッチンカー

※雨天時は野外の体験内容を変更する場合があります。

10月13日(日) 縄文の森コンサート

♪ 近藤淳さんの楽しいアルトサックス
コンサートにぜひご来場ください ♪

【開場】 13:00 【開演】 13:30

【会場】 文化財センター

【出演】 近藤 淳

入場
無料



♪ ♭ ♭ ♯ ♭ 【近藤 淳】アルトサックス奏者 ♭ ♭ ♯ ♭

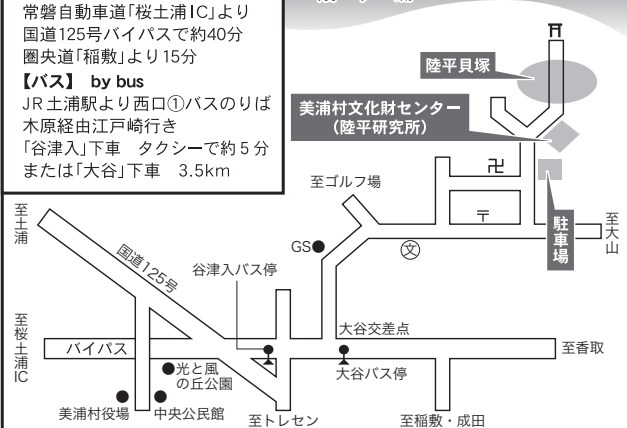
1952年生まれ。73年よりプロとして札幌を中心に活動をし、84年に高橋達也&東京ユニオンオーケストラに入団、ソリストとして活動し脚光を浴びる。89年、同オーケストラ解散後フリーとなり、スタジオミュージシャンとして活動。これまでに多数のアルバムに参加。コンサート、ミュージカルにて欠かせない存在となっている。



陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】 by car
常磐自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分
【バス】 by bus
JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km

霞ヶ浦



<主催> 美浦村教育委員会
<共催> 陸平をヨイショする会
<お問合せ先>

美浦村文化財センター
美浦村土浦2359

☎029-886-0291